第９４回番組審議会議事録

１．開催年月日　　令和４年５月 30 日(月)　10：00～11:30

２．開 催 場 所　　ＣＯＭ倶楽部会議室（箕面市船場東２－５-47　ＣＯＭ３号館５階）

３．委員の出席　　委員総数　　６名

出席委員　　５名（内１名は書面参加）

出席委員の氏名　　稲垣千秋、須貝昭子、桑田政美、智内威雄
（神垣美代香・書面参加）

欠席委員の氏名　　中川弘佳

放送事業者側出席氏名　　藤井　栄治（代表取締役社長）
大平麻由美（取締役放送局長）
野間　耕平（編成課員）

４．議　　題　　１）公開生放送「みのたんらじお」特別編
林はるかさん、林そよかさん箕面市特命大使称号授与式完全生中継
２）審議
３）その他番組に対する意見

５．議事の概要　　事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

６．審 議 内 容

１） 番組

（１）事務局より番組説明

箕面市出身の音楽家・林はるかさん、林そよかさん姉妹が、箕面市特命大使「箕面音楽に恋して大使（チェロ＆作曲・ピアノ）」に任命されることになり、その称号授与式を「みのたんらじお」（毎週土曜日 11 時～12 時、箕面市立メイプルホールロビーで公開生放送）の番組内で、完全生中継しました。市長からの委任状の授与の後に林姉妹・市長・司会の４者による対談の時間を設けたほか、林姉妹がこの日のために作曲した『恋して箕面』を生演奏で披露。また、お楽しみ企画として、滝ノ道ゆずるがチェロ演奏に挑戦する場面もありました。その他、多くのかたから寄せられたお祝いのメッセージを紹介しました。

林姉妹は、2017 年４月から、みのおエフエムで「DJ カーニバル」の第 5 週を担当しています。お二人がラジオ番組を担当していることから広がった取り組みができました。地元箕面を始め全国にファンが多く、みのおエフエムでも引き続き応援していきたいと考えています。

（２）審　議

委員Ａ：「箕面市特命大使」が市民にどれだけ認知されていて、どのような役割があるのかが知りたい。番組自体は、知らなかった林姉妹のエピソードを楽しく聴くことができ、インタビュアーの手腕が優れていると感じました。ほかの大使についても、大使任命後どんな活動をしてきたかなどを今後取り上げてもらえれば、特命大使の意味や認知度も上がっていくと思います。

委員Ｂ：授与式をラジオを通じて公開で行ったのは、良いイベントだったと感じ、会場に行ってみたかったです。番組は、特命大使を授与する側、される側の、両方の宣伝を盛り込む必要があり、それについては三つの要素が重要になります。一点目は音楽家である林姉妹の魅力を伝えるということ、二点目は授与する側の箕面市が音楽家に特命大使を授与することについての意味、三点

目は林姉妹と箕面市の間を結ぶ音楽を介したストーリー。実際に聴いてみると、一点目に関しては主人公の林姉妹がとても話し慣れていて魅力が伝わってきました。二点目の箕面市側については、何かエピソードを用意しておくべきだったのではないかと思いました。三点目の林姉妹と箕面の関係はとてもよく分かりました。司会者はとても上手で、会場との即興のやりとりなどもあり、公開生放送ならではの良さが感じられました。

委員Ｃ：林姉妹のお二人の人柄が伝わる内容でした。メイプルホールのエントランスからの演奏、とても耳心地が良かったです。今回のために林姉妹が作曲・演奏した『恋して箕面』はとても良い曲だったので、ほかの番組やイベントなどでも流す機会を増やしてほしいと思いました。番組の進行については、会場で見学していた市民のかたへのインタビューなどもあれば、臨場感がもっと伝わったのではないかと思います。

委員Ｄ：箕面出身のアーティストがまだほかにもたくさんいると思いますので、今後も取り上げて放送していただければ幸いです（書面）。

委員長：授与式の生中継で一番大変だったことは何でしょうか。

事務局：会場のレイアウトや、中継用の回線を通すルートを念入りに検討し、デザインしていったことです。

委員長：今回、行政から授与式のラジオ放送について相談があったということなので、それだけ行政が関心を持って、協力を広げてくれたのはとても良い一歩だと思います。これからさらに協力を広められるよう、よろしくお願いします。

７．審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

８．審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送
事務所への備置
ホームページ（https://company.minoh.net/）

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

令和４年５月 30 日

箕面ＦＭまちそだて株式会社　　番組審議会